

ファシリテーション・サミット富山2024 ワークショップセレクション I (WSI) 対面開催 一覧表

日時：6月15日(土) 14:45-16:45

No.	テーマ	氏名 (ふりがな)	プロフィール(抜粋)	ワークショップの流れ：簡条書き	ワークショップの概要(キーワード)	役に立つ場面(こんな方にお勧め)
1-A	地域幸福度(ウェルビーイング)体験ワークショップ	南雲 岳彦 (なぐも たけひこ)	デジタル庁田園都市Well-Being指標委員会委員、内閣府規制改革推進会議等の国の審議会委員等を歴任。東京都、渋谷区、横浜市、鎌倉市、加古川市、会津若松市、浜松市等自治体・民間企業のアドバイザー、慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科招聘特任教授、京都大学経営管理大学院客員教授、横浜市立大学特任教授など。	①地域幸福度(ウェルビーイング)指標を使って、地域の特徴を俯瞰する。 ②データに基づき、地域のウェルビーイング因子を抽出する。 ③地域の幸福度を高める政策をデザインする。 ④グループ毎に成果発表	デジタル田園都市国家構想、公式ウェルビーイング指標の使い方の基本、体験	地域や市民のウェルビーイングについて、データを活用したファシリテーターのスキルを身に付けたい人
1-B	震災現場での課題解決～能登半島地震！地域コーディネーターはどう動いたか～	谷内 博史 (やち ひろふみ) 森山 奈美 (もりやま なみ)	1971年生まれ。コミュニティ財団、中間支援NPO、まちづくり会社勤務を経て、石川県七尾市、金沢市、富山県氷見市で任期付職員として、市民活動や地域自治組織等の活動支援や行政との協働を担当。現在は、兵庫県明石市市民とつながる課ファシリテーター専門職員として、市民との対話による市政づくりにチャレンジしている。	・能登半島地震での行動、活動紹介 ・フィッシュボウルでの問いかけ ・全体で探求する問いの投げかけ ・バズセッション ・フィッシュボウルでの分かち合い	能登半島地震、民間まちづくり会社の社長、金沢市市民活動サポートセンター所長、石川県七尾市、さまざまな被災者支援活動、住民市民有志、全国各地の災害NGOやNPO、個人ボランティア、民間企業、被害状況の変化、救援、支援活動の変化、地元の地域づくりコーディネーター、どんなファシリテーションを目指していたのか	災害現場での話し合い、被災地での市民・コミュニティ・救援活動のコーディネート、これからの災害に活かす
1-C	社会課題の解決に向けた協働の関係性づくり～システム・コーチング®から紐解く～	長浜 洋二 (ながはま ようじ)	モジョコンサルティング代表。社会課題の解決に向けたソーシャルセクターの事業開発と組織開発、地域のエコシステムづくりに携わる。コーチ(個人/チーム/プロセスワーク)。著書『NPOのためのマーケティング講座』。	・チェックイン ・ワーク①テーマに対するシステムの配置(多様性)を確認し合う ・ワーク②テーマに対する様々な立場や声、感情を表現し合う ・チェックアウト ※当日参加される皆さまのバックグラウンド等を踏まえ、内容を変更する可能性があります	複雑化・相互依存化した現代社会、立場の異なる多様な主体、社会課題の解決、価値の創造、共通のゴールを目指す、システム、体感的なワークショップ、お互いの関係性	・地域・社会の課題解決に取り組む人や協働を促進する人 ・地域づくりのコーディネーターや中間支援組織に携わる人
1-D	中小企業ファシリテーションを用いたウェルビーイング経営	東出 悦子 (ひがしで えつこ)	株式会社アイベック 代表取締役社長 富山市生まれ。ポストン大学卒。2010年に父が経営するアイベック(非破壊検査業)に入社。2015年に代表取締役社長に就任。 富山県成長戦略会議 ウェルビーイング戦略PT委員、富山経済同友会 ウェルビーイング小委員会委員長		職人集団の組織、フリーアドレス、テレワーク、働き方改革、富山の中小企業の経営紹介、離職率の激減、売上が過去最高、資格合格率、ウェルビーイング経営	組織で変革を起こしたい方、運営に携わる方、経営者や職場のリーダー
1-E	地域や社会課題で活用するシステム思考XNVC	鬼木 基行 (おにき もとゆき)	IDG Collective Story Hub コーディネーター・地域づくり団体「みんなのお勝手さん」共同代表。 「学習する組織」を用いた個人と組織の成長を企業や地域で実践し、近年はIDGsのフレームワーク活用を実践中。「IDGs変容する組織」共著者	・システム思考紹介・個人ワーク・グループワーク対話・共感サークル・ハーベスト・まとめ	地域課題、システム思考、因果ループ図、対話、内面の感情、思考とシステムとのつながり、システム思考というコミュニケーションツール	地域や社会課題に向き合うにあたって ・複雑性の高い課題に挑んでいる方 ・繰り返し失敗している課題に挑んでいる方 ・みんなが望んでいない結果が出てしまっている
1-F	Big SDGs and Little Me～The B0X体験をとおして内成長の扉を開く～	平井 雅 (ひらい ただし) 又吉 誠 (またよし まこと)	平井 雅：ビジネスや地域おこしなどの分野でファシリテーション歴19年。第5代FAJ会長・現フェロー/IAF認定™プロフェッショナルファシリテーター(マスター)/2030SDGsゲームファシリテーター養成講座講師/The B0X Experience認定ファシリテーター。 又吉 誠：大学在籍中に学生・社会人を対象としてファシリテーション講座の企画・運営に約5年間従事。その後、エンジニアとしてのキャリアを経て、現在は教育やソーシャルビジネス、スタートアップ支援などの活動に尽力している。	・The B0Xって何？ (参考：https://innogreat.com/index.php?id=2) ・SDGsと私(私の日々の行動のサステナビリティへのポジティブ/ネガティブなインパクト) ・「大きく複雑な世界」と「ちっぽけで無力な自分」 ・IDGsとは？(5つのカテゴリと23のターゲットスキル)	SDGs、持続可能な社会の実現、内面の成長、IDGs(Inner Development Goals内成長目標)、ビジネスや教育、地域活動などの分野、ゲーミフィケーション活用、ゲーム体験、意識と行動の変容、「大きく複雑な世界」、「ちっぽけで無力な自分」、ウェルビーイング、「The B0X」というツール、マインドセット	・社内やコミュニティ内でSDGs普及に携わっているけれどなかなかうまく進まないと感じている方 ・SDGsにまつわるゲーミフィケーションのファシリテーターをしている方 ・内面を探索するツールに興味がある方
1-G	ファシリテーションの価値提供と協働の未来	亀井 直人 (かめい なおと)	向山 聡、阪長 俊之、亀井直人、他数名 協働促進プログラム準備室メンバー	・協働促進プログラムとは？ ・一般社団法人グラミン日本との協働事例紹介 ・実施コンテンツ「デジタル女子プログラム」の協働結果 →利用者の声、グラミン担当者の声 等 ・「自分たちが届けたいファシリテーションの価値」についての話し合い ・意見の発表・交流 ・一般社団法人グラミン日本との今後の展開	協働促進プログラム準備室、シングルマザー支援、デジタル就労支援事業、一般社団法人グラミン日本、「デジタル女子プログラム」、協働	

ファシリテーション・サミット富山2024 ワークショップセレクション I (WSI) 対面開催 一覧表 つづき  
 日時：6月15日(土) 14:45-16:45

1-H	『Well-beingに働けるチームをつくろう』～高いエンゲージメントのチームをつくるには?～	鈴木 愛子 (すずき あいこ) 渡辺 誠 (わたなべ まこと)	鈴木 愛子：サクセスポイント(株)ポジティブ組織開発コンサルタント。幸福学やポジティブ心理学をベースにしたポジティブな組織開発手法を使い「イキイキと働ける人と組織づくり」をしている。 渡辺 誠：サクセスポイント(株)代表取締役。AI (アブシイティブ・インクワイアリー) の専門家。フィンランド式ファシリテーションを日本に導入し人材開発研修や組織開発で活用。	・フィンランド式ファシリテーション®によるワークショップ 「Well-beingに働けるチームの実現方法を考えよう!」 一人ひとりのアイデアの創発を楽しみます。 ・Well-beingな組織づくりの事例 ・質疑応答	「Well-being経営」、Well-beingな働き方とは、「Well-beingに働けるチームをつくる」、幸せ理論であるポジティブ心理学、世界幸福度ランキングNo1のフィンランド発のフィンランド式ファシリテーション、幸福理論x幸福手法	・Well-beingに働けるチームをつくりたい方 ・メンバーを持つリーダーの方 ・人材開発や組織開発を担当される方 ・チームづくりに難しさを感じている方
-----	-------------------------------------------------	------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------

ファシリテーション・サミット富山2024 ワークショップセレクション I (WSI) オンライン開催 一覧表  
 日時：6月15日(土) 14:45-16:45

NO.	テーマ	氏名 (ふりがな)	プロフィール (抜粋)	ワークショップの流れ：箇条書き	ワークショップの概要 (キーワード)	役に立つ場面 (こんな方にお勧め)
1-1	NLP(神経言語プログラミング)で問いの力を高める	楯岡 かおる (たておか かおる)	ワークショップトレーナー 電気通信大学通信工学科卒業、(株)東芝でシステムエンジニアとして働いたのちキャリアチェンジ。オンラインオフライン共にコーチングやNLPをベースにしたコミュニケーションワークショップの企画、運営、講師を務める。メタバースVR内でもファシリテーション講座や対話の場を作っている。	・NLPコミュニケーションモデル(言葉と五感と考え等の繋がり) ・ビジョンや目標、課題を明確にイメージする問いの作り方 ・問い作成ワーク ・問いによるイメージや感情の違いを感じるワーク	課題解決、ビジョン目標設定、効果的な問い、問いの質、NLP(神経言語プログラミング)、言葉と人間の五感、視覚聴覚体感覚、過去現在未来、抽象度、具体的、モチベーションや気持ちの変化、セラピー(心理療法)	
1-2	ファシリテーションでアンコンシャスバイアスを解明する!	吉田 聖美 (よしだ きよみ)	「ファシリテーションをはじめよう」佐竹正人、増平貴之、吉田聖美 2017年からファシリテーションを広めることを目的に活動開始。70回以上のワークショップを企画し、400名以上が参加。FAJ内外で活動。	昨年、東京都が主催した東京ウィメンズプラザフォーラムで実施し、好評だったプログラムです。対話の時間を多く設け、自分の中にあるアンコンシャスバイアスについて気づく内容となっています。	イキイキと活躍する社会、アンコンシャスバイアス、対話、無意識の偏見や先入観、公平な判断や平等な対応、みんなの声や意見を大切に方法	・幸せに仕事をするための具体策に興味のある方
1-3	無駄を楽しもう!	能登 貴史 (のと たかふみ)	あなるまっちの交流会は、世代を超えたコミュニケーションと学びの場です。シニアと学生が共に成長し、新しい価値観を共有することで、地域社会に新たな活力をもたらしています。この交流会は、超高齢化社会の日本において、新たなコミュニティの形成と地域愛を育む重要な一歩となっています。	①挨拶 ②アイスブレイク ③ワーク1 ④ワーク2 ⑤ワーク3 ⑥ハーベスト ⑦終わりの挨拶	①挨拶 ②アイスブレイク ③ワーク1 ④ワーク2 ⑤ワーク3 ⑥ハーベスト ⑦終わりの挨拶	・学生との交流に興味がある方
1-4	SFプロトタイピングを使って考える「100年後の満たされた暮らし」	石川 肇 (いしかわ はじめ)	科学技術の社会実装チームメンバー。科学技術の社会実装チームは、科学技術を導入する際の市民対話を推進するため、質の高いファシリテーションを提供するとともに、ノウハウを蓄積し、またそのためのコミュニティを醸成することを目標に活動しています。	・SFプロトタイピング概要 ・100年後の世界づくり ・全体発表 ・バックキャスト ・ふりかえり	SFプロトタイピング、アイデア思考の手法、100年後に広がる持続可能なまち、「満たされた生活」、SF(サイエンス・フィクション)、「ぶっ飛んだ未来」を想像、現代の価値意識、課題解決、発想を創造、思考や共感軸の転換、物語を作る、未来から現在に向かって逆算(バックキャスト)	・SFプロトタイピングの手法に興味がある、実際にやってみたい方 ・実りのある市民対話を促すファシリテーションの方法に興味がある方 ・科学技術のほか、社会や法律、倫理など様々な観点から対話を通じウェルビーイングを考えたい方。